

ごあいさつ

長崎県教育庁 教育次長 本田 道明



会員の皆様には、日頃から生徒の健やかな成長のため、各地でPTA活動に御尽力いただき厚くお礼申し上げます。

また、小柳会長におかれましては昨年度に引き続き会長として県内のPTA活動を推進されておられますことに心から敬意を表します。

さて、令和元年度が始まり県教育委員会においては、「長崎の明日を拓く人・学校・地域づくり」のテーマのもと、「第三期長崎県教育振興基本計画」がスタートしました。高校生が確かな学力と幅広い知識を身に付け、豊かな人間性と社会性を育むことができるよう、そして、夢や憧れを持ち、世界を舞台に自分の将来を切り拓くとともに、地元長崎の今後を担う子どもの育成に努めております。

このような中で、昨年末に県内全てのPTA連合会が集う長崎県PTA・保護者の会連絡協議会を開催したところ、保育園・幼稚園から高等学校、特別支援学校までの多くのPTA関係者に御参加いただきました。そこで、「人口減少と若者の県内定着について」と題した知事の講演とPT

第六二回 九高P連大会 福岡バリよかつ大会報告

九高P連大会は六月二〇日(木)福岡国際会議場二日(金)福岡国際会議場・サンパレスホテル&リゾートにおいて「未来人材育成 新しい時代を切り拓け」をテーマに、九州各県から三〇〇二名の参加を得て盛大に開催されました。本県からは二〇八名が参加しました。

○一日目 委員会・理事会・総会
○二日目 分科会・全体会
記念講演 「健全な社会を作ろう」
公益社団法人日本医師会 会長 横倉 義武氏

各分科会の様子は、参加された調査広報委員の方々から報告していただきます。

第一分科会

「青少年の健全育成とPTA活動」

五島高等学校PTA会長 山下 栄一

第一分科会では、子どもの基本的な生活習慣の確立、コミュニケーション能力の育成、一人で生きる力の向上等を考え、学校・家庭・地域が協働して取り組める方策等について四本の発表がありました。

鹿児島県立志布志高校のPTAによる挨拶日本一運動等、地域に開かれたPTA活動の取組。熊本県立水俣高校の環境モデル都市ならではの様々な相互連携活動や地域の小中学生まで視野に入れたPTA活動。佐賀県立佐賀農業高校の子ど



(第一分科会)

第二分科会 「進路指導とPTA活動」

島原高等学校PTA会長 佐藤慎一郎

第二分科会では変化の激しい社会の中で子どもたちが自立的に変化に対応していく力の育成のために、PTAとして、保護者としてできることは何か等、四校から事例発表がありました。

長崎県立猶興館高等学校では地方の少子化、過疎化の問題に対し、地域に関わる仕事の魅力伝えるキャリアセミナー「未来力育成塾」の開催。

大分県立杵築高等学校では生徒へ安心安全で安い食の提供を目指し、PTA役員、地域の協力で運営されている学食「はなまる食堂」の紹介。

沖縄県立南風原高等学校では進路に関わる疑問点や不安解消のための卒業生保護者を講師にした研修会や卒業生講話の開催。

福岡県立田川科学技術高等学校では生徒と地元自治体の事業との連携。少子化、過疎化が深刻化している地方に生活している保護者にとって非常に興味深い発表でした。



(第二分科会)

第三分科会 「主体的な防災とPTA活動」

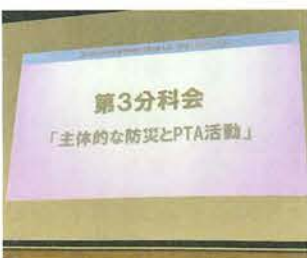
佐世保工業高等学校PTA会長 梶山 哲男

基調講演では、当時熊本工業高校定時制教頭の富田氏より平成二八年四月に起こった「熊本地震」を体験され、そこから学ばれた教訓等の話がありました。

地震直後より近隣の多くの方々が避難して来られた為、教職員・自治体の職員、生徒・ボランティアの方々と避難所運営されたご苦労など、また同時に学校再開に向けての活動など、貴重な体験談を聞くことができました。

講演後のパネルディスカッションでは、九州北部豪雨災害後に地元高校写真部生徒たち主導による、汚れた写真を洗浄し救済するボランティア活動の様子の発表や、災害発生前後の保護者へのメール等を使った連絡、また、生徒に行った災害に対する意識調査の結果等の発表がありました。

普段より災害に対しての意識を持っていないと、いざという時に自分自身どの様な動きができるのか不安にもなりました。改めて、災害発生時の対策などを考えておくことの重要性を感じる事ができました。



(第三分科会)

「ともに学び、支え合うPTA活動」

長崎県教育庁 生涯学習課 課長 山口 千樹



去る六月二十一日、福岡市において、「第六十三回九州地区高等学校PTA連合会大会福岡バリよかつ大会」が開催されました。

分科会「進路指導とPTA活動」では、「自分の目標をもてるようになる」「地元の課題を知る」「未来を生きる力を養う」ことを目的としたキャリアセミナーを実施している猶興館高等学校PTAの取組が発表されました。PTAが主体となり、子どもの進路実現に向けてキャリア教育を具現化されている内容は、県内はもとより他県のPTA団体にも大変参考になるものでした。

また、進路決定に向けた子どもとの話し合いや、決定にいたる理由、進学に掛かる費用など、保護者の学びのための機会をPTAが独自に設定し、卒業生保護者による講演会を実施している取組もありました。さらに、近年進学に向けた各種奨学金制度を活用する生

徒が増え、その内容に関する説明会の開催や、申請手続き等に係る学校の対応や負担が大幅に増加しています。そのような状況に対して、PTAで対応可能なことはPTAで実施し、学校の業務を軽減しようとする取組の発表もありました。

PTAは大人が学び、支えあう社会教育関係団体です。これからのPTA活動は、単に学校を支援するだけではなく、学校と連携・協働し様々な活動を実践していくことが求められています。その中に会員の学びの機会を設定し、保護者が積極的にキャリア教育やふるさと教育に携わっていくことで、その成果も上がり、PTA活動も充実したものになると考えています。

さらに、PTA活動の中に地域住民の協力を得ることができれば、子どもの地域への愛着や誇り、地域に貢献しようとする態度を育むこともできるのではないのでしょうか。そのためには保護者の皆様には、PTAにおける研修や実践活動の一層の充実を目指し、御協力いただきますようお願いいたします。

祝

全国高等学校PTA連合会団体表彰

小浜高等学校PTA

小浜高校は、島原半島の西部に位置し、自然環境に恵まれ、本年度創立七十周年を迎える学校です。

本校の校訓は「風変わっていい」、「誠実な人」が付いています。この「誠実な人」に込められている意味は、誠実を日常生活の中で実践しなければ意味がないという実践尊重の精神が根本にあるそうです。

島P連同様四委員会に分かれ活動しています。各委員会の主な活動としては、健全育成委員会は夏休み中の夜間巡視活動、調査広報委員会はPTA誌「香櫨」の年二回発行、進路委員会はPTA研修旅行を企画し、企業や大学等の進路先の訪問を行っています。母親委員会は文化祭での食物バザー、ハイキングトライアルの豚汁炊き出し、卒業式のコサージュ作りを行っています。

いずれも多くの会員の皆様に参加していただき、親子の絆を深める良い機会になっています。子どもたちが健全に成長し、「誠実な人」となって学校を巣立って行ってくれるよう全PTA会員が一丸となって活動を行っています。



学校訪問



ハイキングトライアルの豚汁炊き出し

「誠実な人」の実現のために

長崎市立長崎商業高等学校PTA

長崎商業高等学校は県内唯一の市立高校で長崎市の北部に位置し、九州最古の公立商業高校として今年創立百三十四周年を迎えます。

部活動は運動部、文化部ともに盛んで、九州大会や全国大会で活躍しています。また、資格取得にも力を入れているなど、文武両道を貫いています。

本校の特長を表す言葉として「長商スマイル」があります。「長商スマイル」とは、子どもたちが自ら主体的に学校生活をよりよいものにしようとする中で、自然と笑顔がこぼれ、周囲も笑顔となるような表情や行動を指します。このような充実した学校生活を送ることができるよう、保護者もできる限り、行事に積極的に参加することで、子どもたちの生き生きとした活動を応援し、見守っています。

そのための取り組みが、すべての会員が一年に一度はPTA活動に参加する「一人一役」の導入です。これにより、円滑な事業運営ができるだけでなく、会員間のネットワークも広がっています。これからの「一人一役」で子どもたちの「長商スマイル」を支えていきたいと思っています。



「一人一役」で支える『長商スマイル』

祝

九州地区高等学校PTA連合会団体表彰

上五島高等学校PTA

上五島高校は五島列島の中通島にある、自然に囲まれた学校です。全校生徒は約三二〇名で、普通科と離島の高校で唯一の工業科「電気情報科」が設置されています。

PTA活動の主な取組は、「上高生と保護者の意見交換会」、「登校時のあいさつ運動」、「校内を整備する活動」、「三年生の進路実現に向けた集会での激励（就職試験激励会、センタertest一〇〇日前集会）」、「PTA新聞」とびうお「発行」です。この他に、母の会の皆さんが中心となって、「あご焼き」講習会や文化祭での食物バザー、マラソン大会での豚汁の提供等を行っており、生徒たちに地元特産品の伝承等の活動を行っています。

これらの活動を通して生徒の健全育成に取り組んでいます。

これからの、学校行事を基に保護者も深い団結力を持って、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。



あいさつ運動



あご焼き講習会

団結力で育てる

ろう学校PTA

本校は、二〇一八年一月に大村市宮小路へ新築移転するとともに創立百二十周年を迎えました。幼稚部から高等部まで本校幼児児童生徒四十九名、分教室七名、総勢五十六名で、にぎやかに学校生活を送っています。

PTA専門部として、広報部、研修部、環境整備部の三つがあります。広報部では、年二回、行事の写真を盛り込んだPTA広報誌「ながろうくん」の発行に力を入れています。研修部では、夏休みに親子ものづくり教室を開催。昨年はうどん作り、今年は子どもと一緒に竹を組む、ソーメン流しを計画しました。先生方を交えて楽しい交流の場となりました。又、月一回手話学習会を開催しており、手話の出来る保護者を中心に日常会話を学んでいます。雑誌にも楽しみの一つで、保護者同士の情報交換の場にもなっています。環境整備部では、地域貢献の一環として学校周辺のゴミ拾いを実施しています。又、親子花苗移植や校内ロードレース大会時におけるこの提供を行っています。これからも、子どもたちの為に保護者、先生、地域が一体となってPTA活動を盛り上げていきます。



親子花苗移植



手話学習会

絆の強さが自慢

祝九高P連広報紙コンクール入賞

九州各県から提出された代表広報紙五紙、計四〇紙の中から最優秀賞一紙、優秀賞四紙、優良賞五紙が選ばれました。

本県から提出した佐世保西高等学校の広報紙「満帆」が優良賞に選ばれ、第三回九州地区高等学校PTA連合会大会福岡大会において表彰されました。

優良賞

佐世保西高等学校育友会

「満帆」



本年度の長崎県公立高等学校PTA連合会広報紙コンクールのご案内も各校へお送りしておりますので、多くの学校から応募していただきますようお願いいたします。

[illegible]